

6. 発表業績

(1) 学術誌等での発表

○学術誌での発表

- ・釣獲されたサワラの船上における致死方法の検討：岡本 満・齋藤寛之、日本水産学会誌 77 (6) , 1083-1088 (2011)

○学会・研究集会等での口頭発表

- ・山陰沿岸域におけるケンサキイカ秋季来遊群の漁況予測の検討：寺門弘悦、第 95 回対馬暖流系アジ・サバ・イワシ長期漁況海況予報会議 (2011. 10)
- ・どうなる！浜田沖底：道根 淳、ビジネスモデル研究会第 3 回幹事会 (2011. 11)
- ・日本海中西部広域連携調査レビュー：道根 淳、日本海ブロックヒラメ分科会 (2011. 11)
- ・島根県におけるアナゴ類の漁獲動向について：道根 淳、第 15 回アナゴ漁業資源研究会 (2011. 12)
- ・漁業依存情報に基づく機動的禁漁区設定による底びき網漁業の管理システムの開発：道根 淳、第 9 回日本海ブロック資源研究会 (2012. 1)
- ・日本海産ハタハタの耳石の酸素安定同位体比による水温履歴の系群間比較：藤原邦浩・養松郁子・後藤常夫・浅野謙治・道根 淳・甲本亮太、平成 24 年度日本水産学会春季大会 (2012. 3)
- ・高津川におけるアユの河川回帰率の推定手法の検討：寺門弘悦、村山達朗、平成 23 年度アユ資源研究部会 (2012. 2)
- ・アユの肝臓に寄生する線虫類：岡本 満・沖野 晃・Mark A. Freeman・小川和夫、平成 24 年度日本水産学会春季大会講演要旨集、139 (2012. 3)
- ・アユの肝臓に寄生する線虫類の寄生状況：沖野 晃・岡本 満・小川和夫、平成 24 年度日本水産学会春季大会講演要旨集、139 (2012. 3)
- ・メダいの貯蔵温度と致死条件による鮮度変化の差異：岡本 満・内田 浩・井岡 久、平成 23 年度水産物利用関係研究開発推進会議利用加工技術部会研究会、40-41 (2011. 11)
- ・ベニズワイガニ身入りの非破壊測定方法の開発：内田 浩・井岡 久、平成 23 年度水産物利用関係研究開発推進会議利用加工技術部会研究会、42-43 (2011. 11)
- ・メダいの鮮度保持に関する検討：岡本 満、水産物の利用に関する共同研究第 52 集、11-14 (2012. 3)
- ・近赤外分光法によるマアナゴ脂質含量測定方法の開発：内田 浩、水産物の利用に関する共同研究第 52 集、22-24 (2012. 3)
- ・メダいの鮮度変化に及ぼす貯蔵温度と脊髄破壊の影響：岡本 満・井岡 久、平成 24 年度日本水産学会春季大会講演要旨集、90 (2012. 3)
- ・アメフラシ類 (*Aplysia spp.*) の脂質特性：齋藤洋昭・井岡 久、平成 24 年度日本水産学会春季大会講演要旨集、109 (2012. 3)
- ・隠岐のイワガキ天然採苗技術の開発：開内 洋、浜口昌巳、西部日本海ブロック増養殖担当者会議報告書、資料配付 (2011. 11)
- ・本庄水域におけるサルボウガイ種苗放流の試み：佐々木 正、島根大学汽水域研究センター新春発表会シンポジウム要旨集、20 (2012. 1)
- ・平成 23 年度のアカアマダイ仔稚魚飼育における斃死・減耗事例：清川智之、中国五県水産系広域連携担当者会議、資料配付 (2012. 2)

- ・仔稚魚飼育における斃死・減耗事例と対応について：清川智之、平成 23 年度日本海ブロック水産業関係研究開発推進会議 日本海資源生産研究部会 アカアマダイ分科会、資料配付 (2012. 2)
- ・宍道湖におけるヤマトシジミ浮遊幼生の出現動向と天然採苗について：曾田一志・濱口昌己、平成 23 年度日本海ブロック水産業関係研究開発推進会議 日本海資源生産研究部会 増養殖研究会講演要旨集、10-12 (2012. 3)
- ・島根県中海における魚探を用いた海藻の分布調査とツルシラモ増殖を目的とした 2, 3 の予備試験：清川智之・佐々木 正・開内 洋、平成 23 年度日本海ブロック水産業関係研究開発推進会議 日本海資源生産研究部会 増養殖研究会講演要旨集、13-15 (2012. 3)
- ・藻の産業利用に係る調査研究事業から「中海におけるオゴノリ類の分布調査と増殖」：清川智之、平成 23 年度中国五県公設試験研究機関共同研究（藻場造成技術の確立・ガラモ場）担当者会議、資料配付 (2012. 3)
- ・島根県中海におけるサルボウガイ幼生の浮遊動態の把握と天然採苗技術の開発について：開内洋、濱口昌己、佐々木 正、平成 23 年度日本海ブロック水産業関係研究開発推進会議 海区水産業研究部会増殖研究会講演要旨集、7-9 (2012. 3)

○その他

- ・サゴシみりん干し、サゴシ冷くん品：岡本 満、「サワラ加工マニュアル」独立行政法人水産総合研究センター日本海区水産研究所 編集・発行、29-31 (2012. 3)
- ・宍道湖におけるシジミ幼生ネットワークの解明：若林英人、曾田一志、勢村 均、新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業 環境変化に対応した砂泥域二枚貝類の増養殖生産システムの開発 平成 21 ～ 23 年度 総括報告書、16 (2012. 3)
- ・サルボウガイ幼生の浮遊動態の把握と天然採苗技術の開発：開内 洋、佐々木 正、勢村 均、新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業 環境変化に対応した砂泥域二枚貝類の増養殖生産システムの開発 平成 21 ～ 23 年度 総括報告書、18 (2012. 3)

(2) 報道実績

日付	新聞社・報道局等	内 容	担当部署
H23. 4. 10	山陰中央新報	海藻の生息妨げるウニ浜田でガンガゼ大発生駆除後の活用検討	海洋資源グループ
H23. 4. 19	山陰中央新報	上期のマアジなど前年上回る漁況か 島根県水産技術センター予測	海洋資源グループ
H23. 4. 20	水産経済新聞	マアジ、サバ前年上回る 4-9 月の山陰沖漁況 島根県水産技術センター	海洋資源グループ
H23. 4. 21	NHK	宍道湖ヤマトシジミは淡水シジミよりおいしい	内水面グループ
H23. 4. 22	みなと新聞	マアジ、サバ「前年上回る」4～9月の山陰沖漁況 島根県水産技術センター	海洋資源グループ
H23. 4. 25	みなと新聞	今月山陰の表面水温平年並み 島根県水産技術センター	海洋資源グループ
H23. 5. 14	読売新聞	シジミ漁春の異変 気温上昇でも成果さえず	内水面グループ
H23. 5. 15	中国新聞	海へ下るアユ仔魚倍増昨年度の高津川産卵場造成など効果	海洋資源グループ
H23. 5. 26	みなと新聞	活けぬと低温管理で品質向上島根水産技術センター	利用化学グループ
H23. 5. 26	毎日新聞	高津川のアユ資源回復の取り組み	内水面グループ
H23. 5. 26	NHK	高津川のアユ資源回復の取り組み	内水面グループ
H23. 6. 12	中国新聞	中海サルボウ成育順調	浅海グループ
H23. 6. 23	NHK	サルボウガイの放流	浅海グループ
H23. 6. 30	中国新聞	サルボウ漁復活に期待 中海・本庄水域 稚貝 100 万個放流	浅海グループ
H23. 7. 2	山陰中央新報	佐陀川でフナ大量死 松江	内水面グループ

日付	新聞社・報道局等	内 容	担当部署
H23. 7. 9	朝日新聞	サルボウ貝再び 稚貝 250 万個放流 成長の条件確認へ	浅海グループ
H23. 7. 29	島根日日新聞	宍道湖のシジミ大幅減少 資源重量、調査開始以来最低 漁協、8 月から休漁日を週 4 日に	内水面グループ
H23. 7. 29	山陰中央新報	宍道湖漁協 シジミ休漁日増へ 来月から週 4 日 資源量著しく減少 資源量最多 03 年の 35%	内水面グループ
H23. 7. 29	日本経済新聞	宍道湖ヤマトシジミ日本一の座ピンチ	内水面グループ
H23. 8. 1	中国新聞	シジミ漁 週 3 日に制限 宍道湖漁協 資源量激減 回復図る	内水面グループ
H23. 8. 2	フジテレビ	宍道湖のシジミを守れ資源保護に向けた一手	内水面グループ
H23. 8. 4	山陰中央新報	サルボウガイ中海に復活か 稚貝 235 万個放流/成育適地を究明	浅海グループ
H23. 8. 18	読売新聞	ヤマトシジミ激減	内水面グループ
H23. 9. 3	山陰中央新報	宍道湖シジミへい死究明・資源回復 県が研究組織設置へ 7 月にシジミ大量死	内水面グループ
H23. 9. 22	毎日新聞	追跡 2011 宍道湖の大和シジミ激減 原因不明の大量死も	内水面グループ
H23. 10. 5	山陰中央新報	中海で年明け漁獲見込み	浅海グループ
H23. 11. 17	中国新聞	サルボウ大半死滅か 中海本庄水域 貧酸素が長引く 県が 6 月に稚貝 100 万個放流	浅海グループ
H23. 11. 18	山陰中央新報	島根県の中海放流事業 サルボウガイ大半死滅 調査着手 5 か所 貧酸素が原因	浅海グループ
H23. 11. 21	水産経済新聞	マアジ、マサバ前年並み 山陰沖、11-3 月の中長期予報 イワシ類は上回る見込み 島根県水産技術センター	海洋資源グループ
H23. 11. 29	NHK	サルボウ種苗放流結果について	浅海グループ
H23. 12. 1	中国新聞	イワシ類漁獲前年超す豊漁 来春まで県予報	海洋資源グループ
H23. 12. 2	山陰中央新報	フナなど 60 匹 赤川に死骸 出雲	内水面グループ
H23. 12. 10	中国新聞	シジミ資源依然低水準 県、宍道湖まとめ	内水面グループ
H23. 12. 10	読売新聞	宍道湖シジミ救え 行政、大学。漁協がタッグ 漁獲 10 年で半減	内水面グループ
H23. 12. 14	島根日日新聞	宍道湖のシジミ 資源量回復も、依然低い水準 来年春以降の資源増加に期待	内水面グループ
H23. 12. 15	山陰中央新報	宍道湖シラウオ豊漁 4 年ぶりの 40 トン台視野 漁協	内水面グループ
H24. 1. 20	山陰中央新報	明窓 サルボウガイ	浅海グループ
H24. 2. 10	山陰中央新報	中海サルボウガイ 貧酸素 2 週間大半死滅 島根県水技 初の調査データ	浅海グループ
H24. 2. 29	山陰中央新報	不漁アマサギ明るい兆し 宍道湖で 700 匹漁獲 昨年 11 月以降 06 年以降年間数十四 産卵期の禁漁要因か	内水面グループ
H24. 3. 6	読売新聞	ケンサキイカ各地で大豊漁 11 年漁期前半 浜田港で過去最高	海洋資源グループ
H24. 3. 17	山陰中央新報	宍道湖アマサギ復活へ連携 卵から稚魚育成→ため池放流 漁協、県水技、自然館の 3 者	内水面グループ
H24. 3. 22	山陰中央新報	アマサギ仔魚 新建川（出雲）に初放流 宍道湖漁協など 餌豊富、成育に好環境	内水面グループ
H24. 3. 28	山陰中央新報	産卵密度近年の 7 倍 アマサギ 斐伊川河口 県水技調査 「復活の兆し」	内水面グループ
H24. 3. 29	みなと新聞	11 年島根県海面漁業漁獲量 27%増の 15 万 3000 トン 巻網物のマイワシ好漁	海洋資源グループ

(3) 情報提供一覧（関係機関へ情報提供するとともにホームページで公開）

	漁業生産部・浅海グループ・栽培漁業グループ				内水面グループ		各部共通		
	トビウオ通信	トビウオ通信 漁況速報	海況情報	とびくす	内水面・中海水 質情報 大橋川水質情報	川っ湖通信	水産技術 センターだより	事業年報	研究報告書
内容	主要魚種の漁況予報、主要漁業の漁況のとりまとめ	県内主要漁業（まき網、イカ釣り、沖合底びき網、小型底びき網、釣り・縄）の漁獲統計・沿岸水温	試験船による海洋観測終了後、近隣海域の情報に加え、等温線図、平年偏差区の設定	海洋における研究成果や話題性のあるテーマを掲載	宍道湖・中海の水質情報と松江大橋橋脚下における水質・流況情報の提供	河川・湖の研究成果や話題	巻頭言、新規研究課題の紹介、研究成果情報、話題、主要事業一覧	各研究課題の結果概要	事業遂行で得られた研究成果
H23 4月	平成23年度上半期浮魚中長期漁況予報		○	No.52 アカアマダイ稚魚を放流！					
5月			○	No.53 メダイの品質向上は「活けず+低温管理で」！		第7号 高津川H22年度のアユ流下仔魚数は約29億尾			
6月			○	No.54 サルボウガイ成果報告会を開催					
7月	・平成22年漁期の底びき網漁業の動向 ・マアジ新規加入量調査結果速報		○						
8月			○		宍道湖・中海水質調査は月1回行い、ホームページで公開。				
9月		毎月発行	○		大橋川水質情報は内水面浅海部のホームページで1時間ごとに自動更新。				
10月			○						
11月	平成23年度下半期浮魚中長期漁況予報		○	No.55 アカアマダイの採卵・種苗生産実施中！					
12月			○	No.56 アカアマダイの種苗生産結果					
H24 1月									
2月	平成23年漁期前半の底びき網漁業の動向								
3月	平成23年（2011年）の島根県漁業の動向		○	No.57 アカアマダイの全国会議が出雲市で開催				平成22年度版発行(3月)	研究報告第4号発行(3月)